



ŌMIYA NEWS



No.86

2023年12月7日

JR 東労組大宮地本

大地申第1号

「JR東労組大宮地本第24回定期大会」の発言に基づく申し入れ

2. 運輸職場において、勤務指定表がシステム上において閲覧が可能になった事を契機に職場に備置されず、個人が勤務指定表の閲覧を求めても各職場で取扱いが違ふ事は正当な組合活動に支障をきたすこととなるため、通達に基づき運用すること。

11月30日(木)

14:00~

—交渉の冒頭で会社から継続議論の回答がされる—

1. 勤務指定表は社員個々の勤務等と確認のためにされていたが、支援システム導入に伴い社員個々の勤務が確認できることから取り扱いを変更した。
2. レクレーションの線引きは出来ないが会社主催のレクや会社が承認するものは管理者が判断する事となる。(基準はなく管理者が判断したものとなる)
3. 11月に出された通達に基づき、2023年1月16日に副区長会議にて議論したものである。

組:システムになったのは分かる。通達が出る前は勤務表はみんなが見れるところにあった。様々なサークルやクラブ、職場レク、教導と見習いの勤務など勤務がバラバラなのでコミュニケーション含めて見てやってきた背景があった。この間、何か問題があったのか？

会:そこで何か問題があったかというとなかった。

組:**根拠がない。**そもそも勤務は隠すものではない。通達通りやるべきだ。

会:我々で判断出来るものではなく本社に確認して回答している。

組:今まで見られた事は管理者も知っていて、何も問題もなかったとなると職場での取り扱いは理不尽でしかない！こんな不誠実な話はない！

会:現場管理者の判断には誤差があり、現場の裁量はあると思う。

組:どんな会社だって歓迎会だってありますよ。新人が転入したら一番来れる日設定するでしょう。職場のコミュニケーションを否定するということ**で良いか？**見せないということはそういう事になる。職場では組合対策でしょと本音で言っている方もいる。過半数代表者選挙の関係じゃないですかと現場の方から声を聞いている。業務なら見せると言うが、職場のみんなでコミュニケーション取ろうと旅行行くのに何か問題あるのか？

会:職場のコミュニケーションを否定するものではない。

組:色々な鉄道会社があり話も聞いてきたが、誰が聞いても**異常**だと、**おかしい会社**ですねと言っていた。本社に言った方が**良い**のではないか、JRの常識は**非常識**だと。**違う職場なら分かるが同じ会社・同じ職場だ。コミュニケーション取るために見せて欲しいと言っても見せないこんな異常な会社はない！**



一方的な異常なルールで職場のコミュニケーションを阻害するのは許されない！！